

2

四代目

村田京一
〜〈四代目〉〜

本宮ひろ志

男樹

～村田京一〈四代目〉～

2

目次

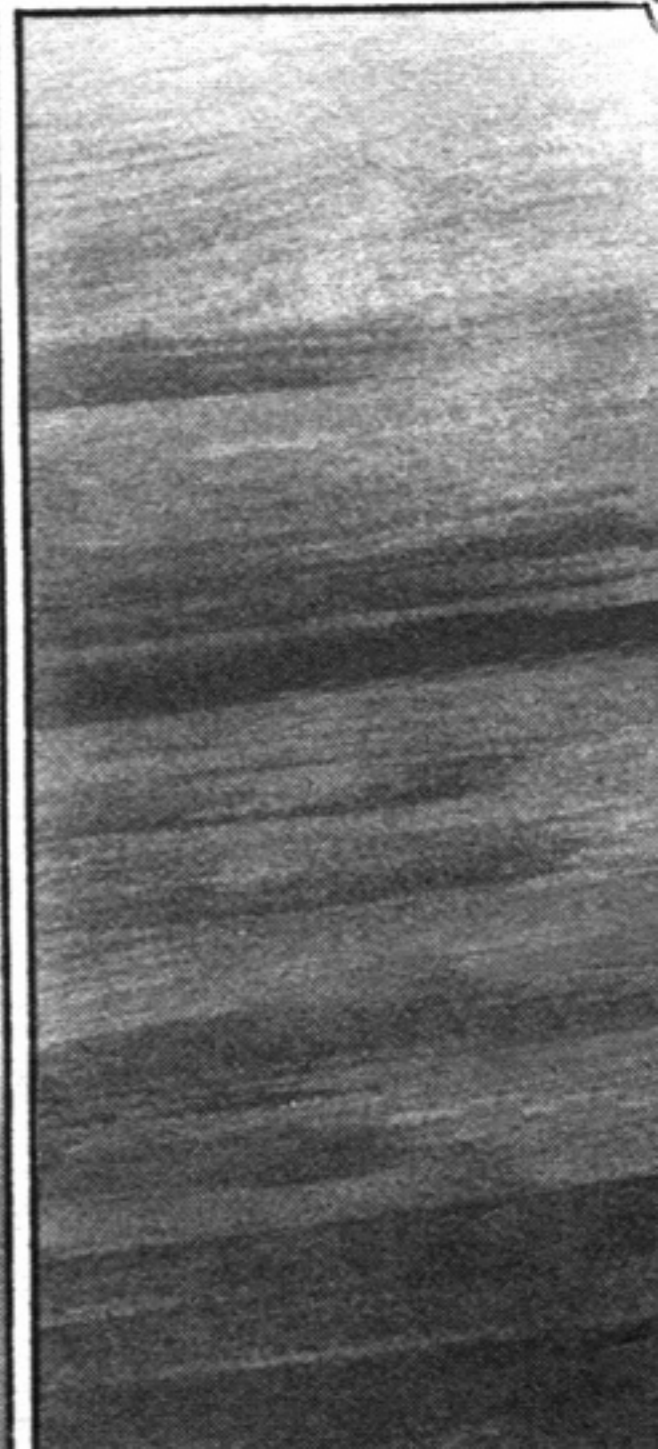
- | | | |
|------|---------|-----|
| 第8話 | ロシアの友—— | 3 |
| 第9話 | 大友組—— | 33 |
| 第10話 | 真里—— | 59 |
| 第11話 | 逮捕—— | 85 |
| 第12話 | ノート—— | 111 |
| 第13話 | 出勤—— | 137 |
| 第14話 | 悪魔—— | 163 |

※この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。



第8話 ロシアの友







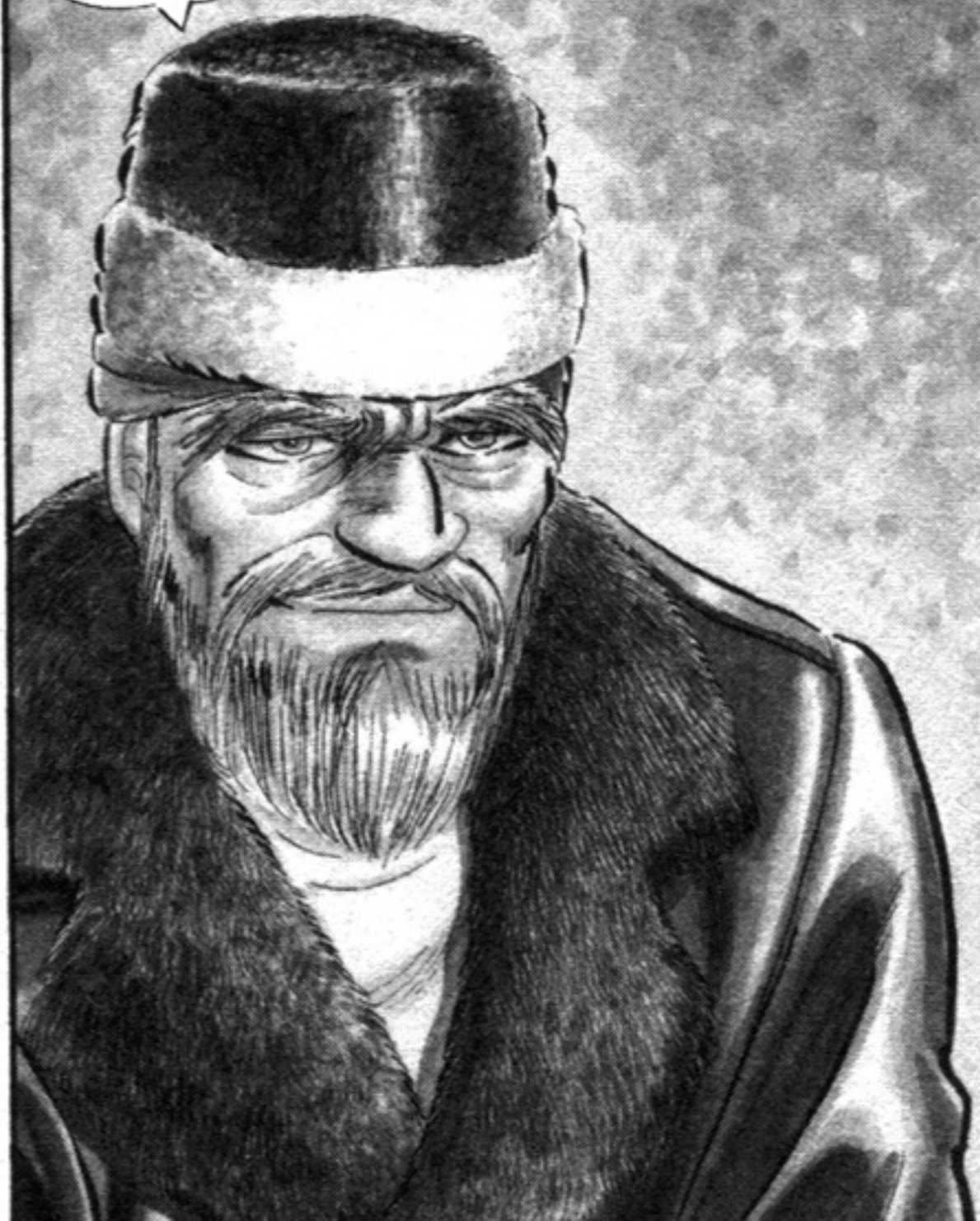
はっは：
カイゼルは：
君を追って
行ったそうだな

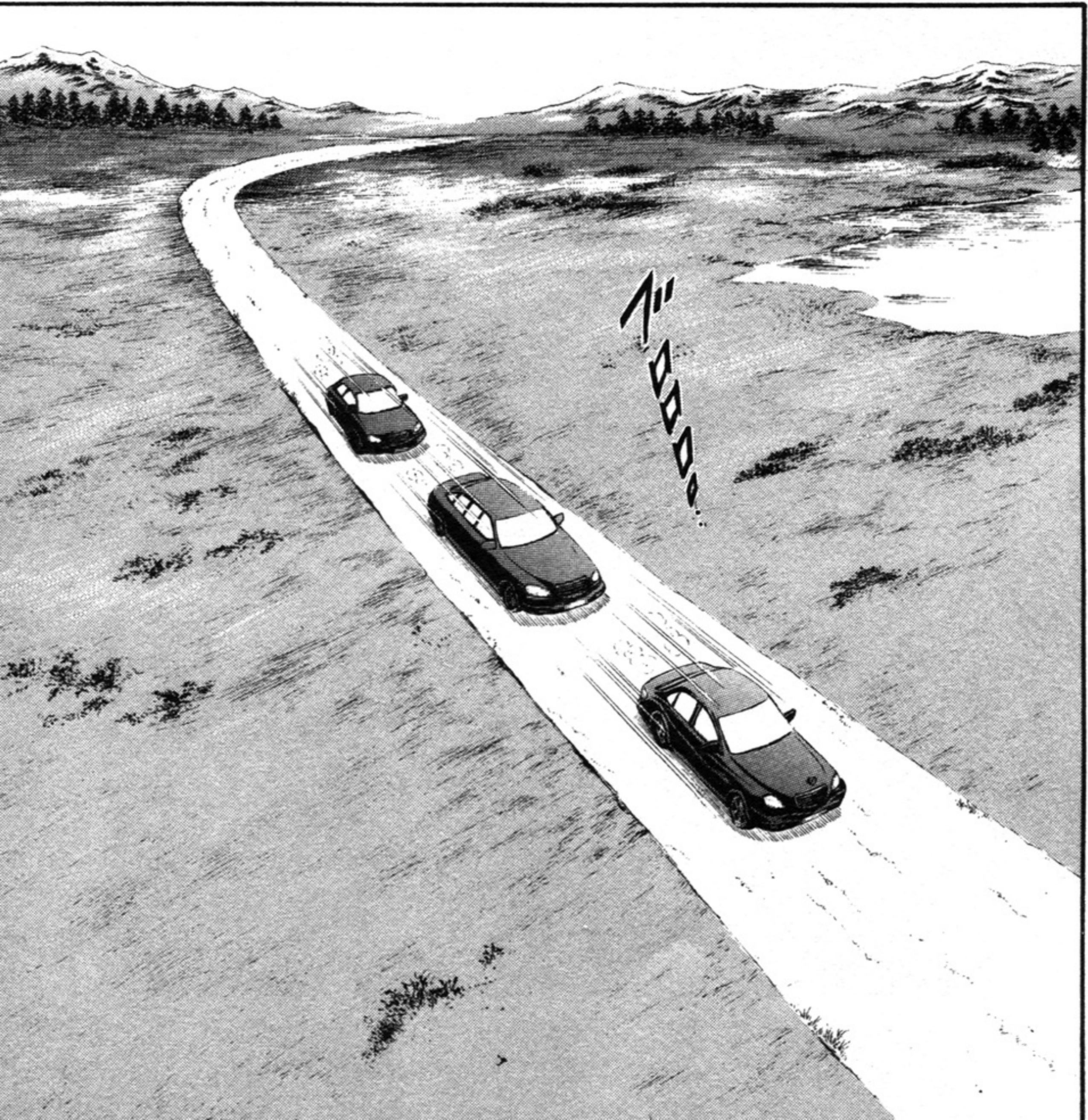
渡りの季節でも
ないのに：
しかも
東京まで
とうきょう

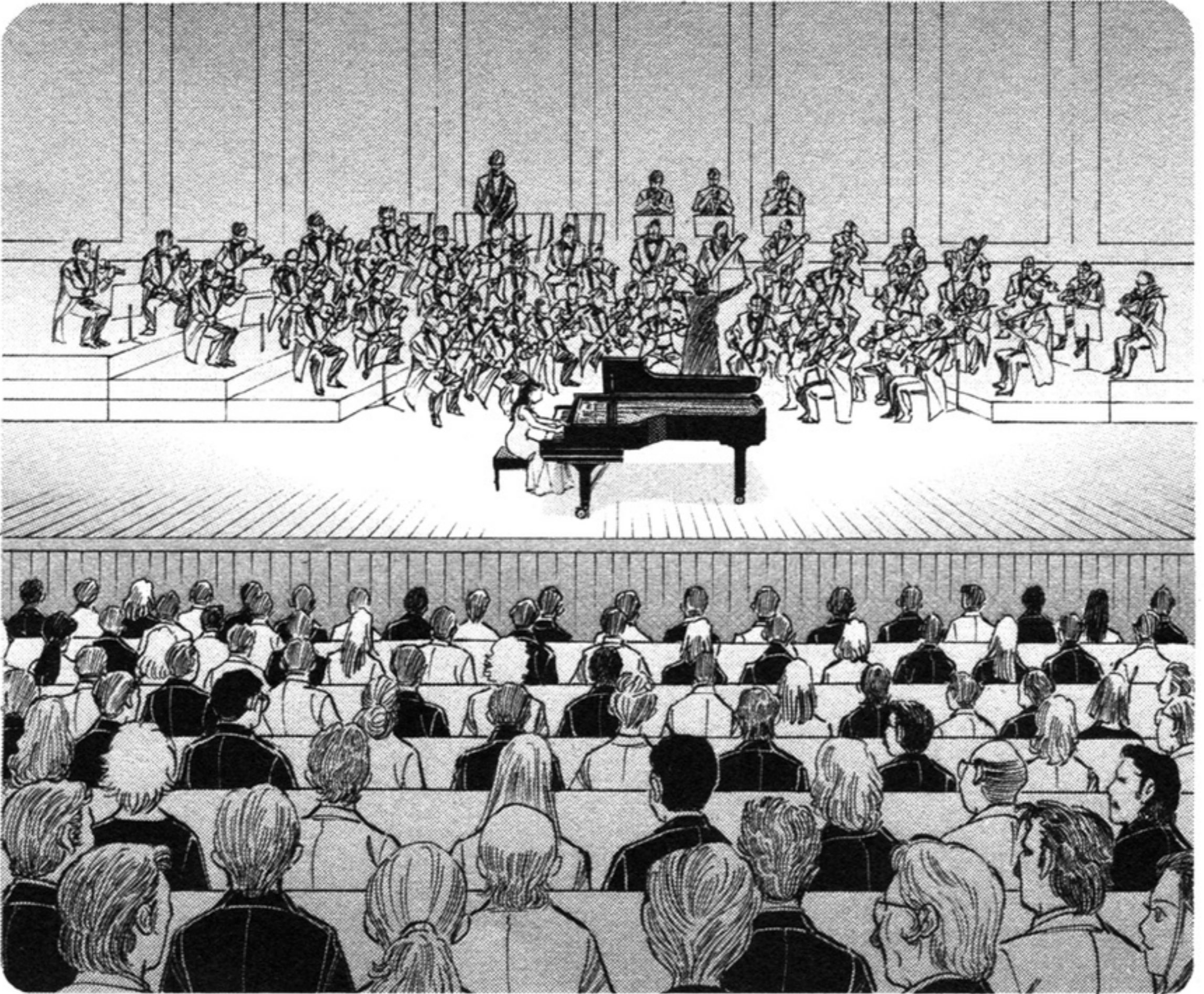
はいっ
!

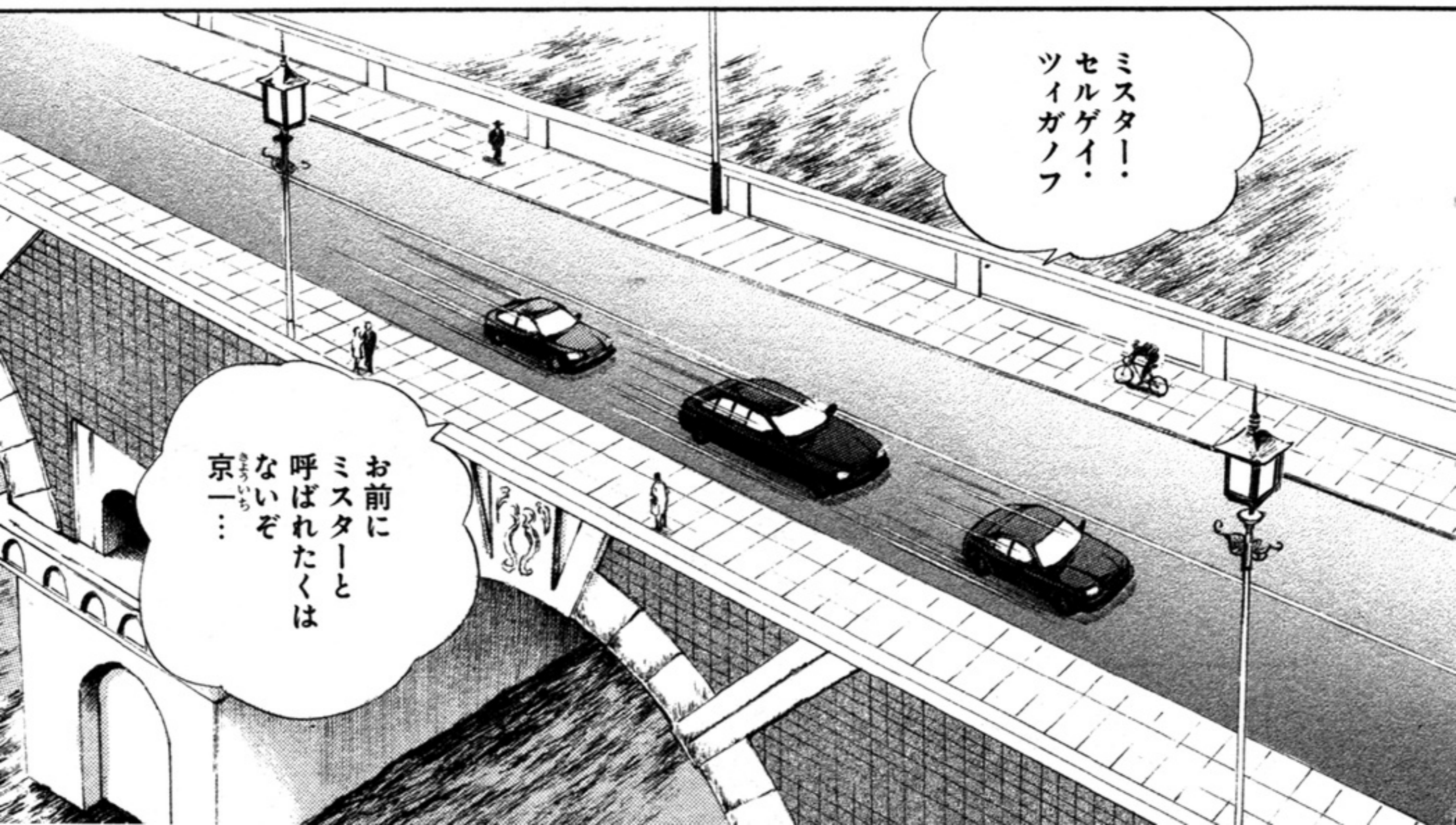
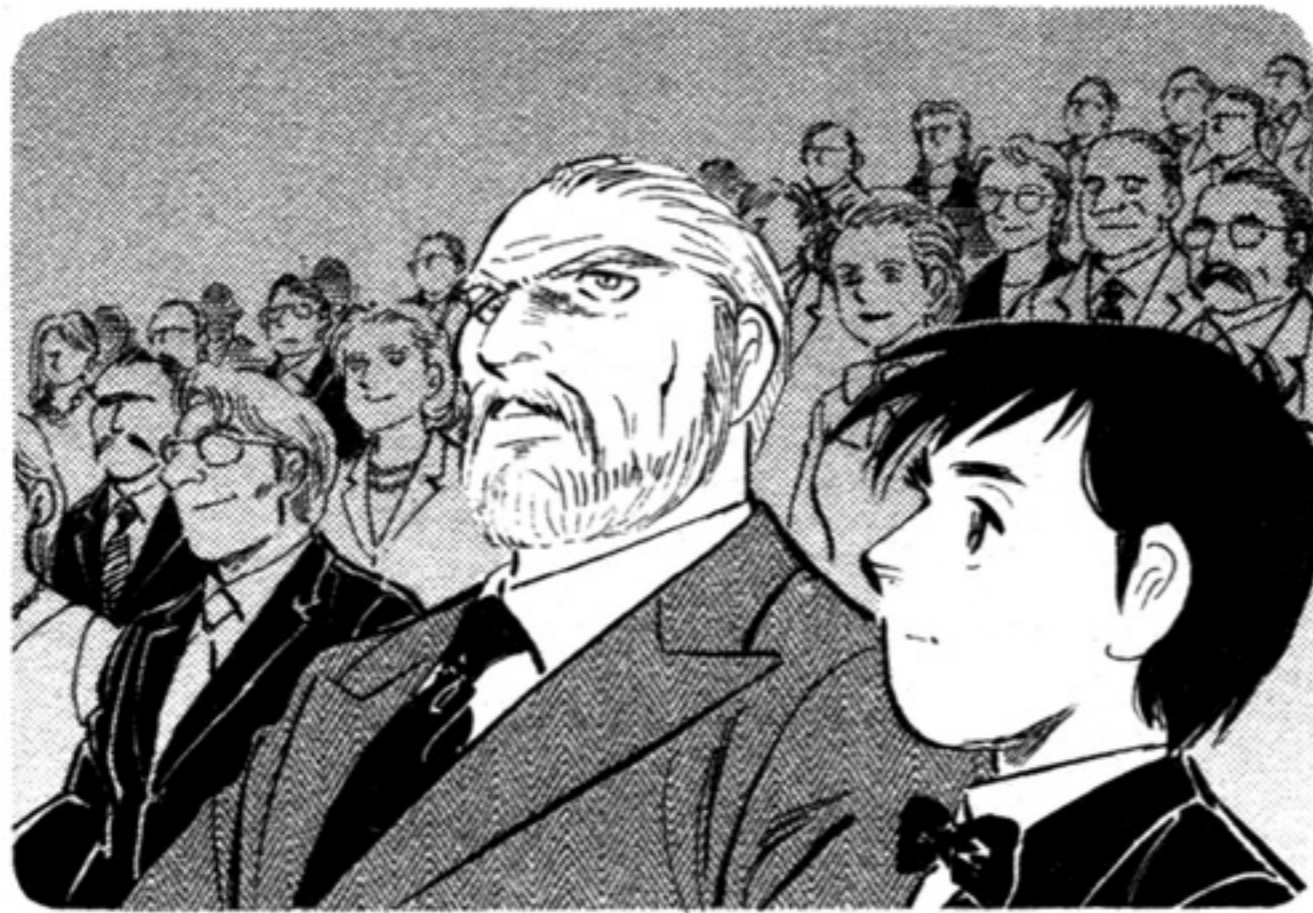
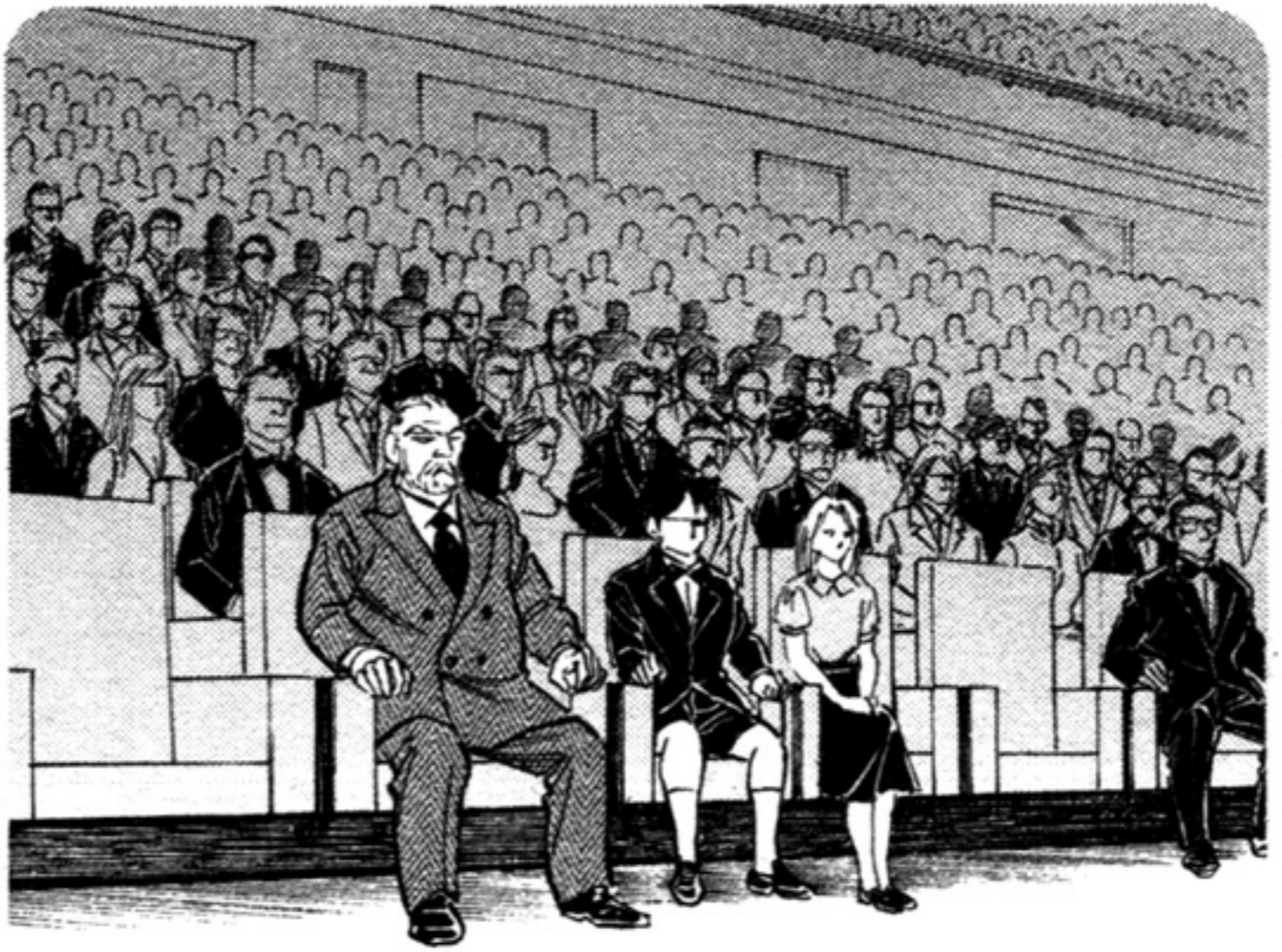
ロシアに
帰すのに
大変でした

そこまで
愛し合っているなら
なぜ家に鳥小屋を
作ってやらんのだ



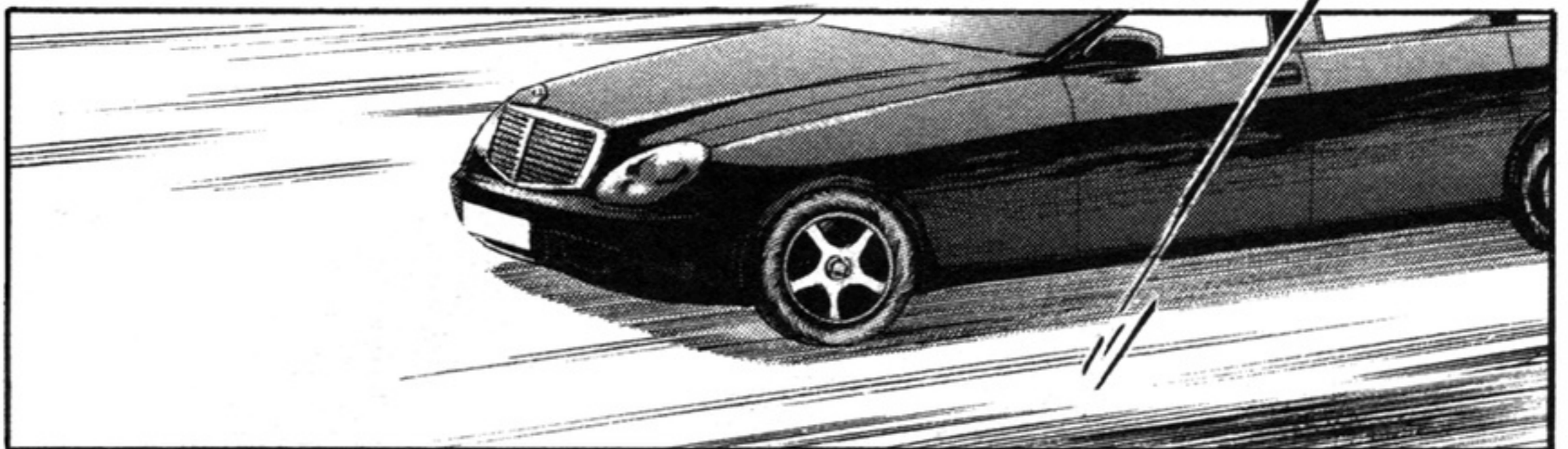


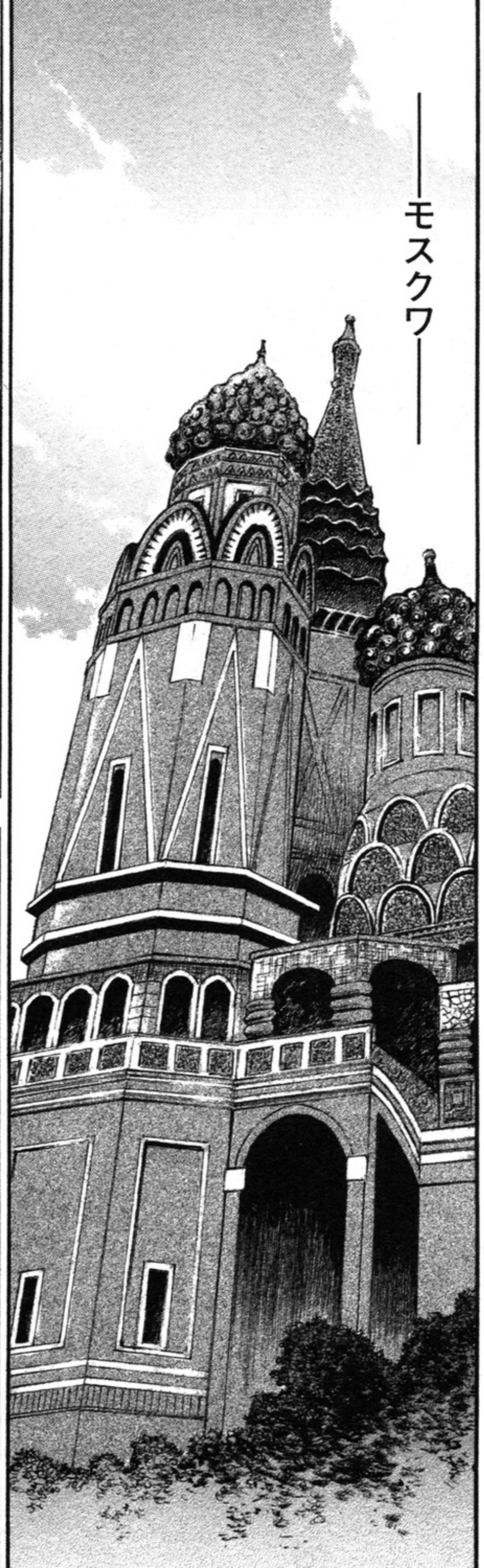
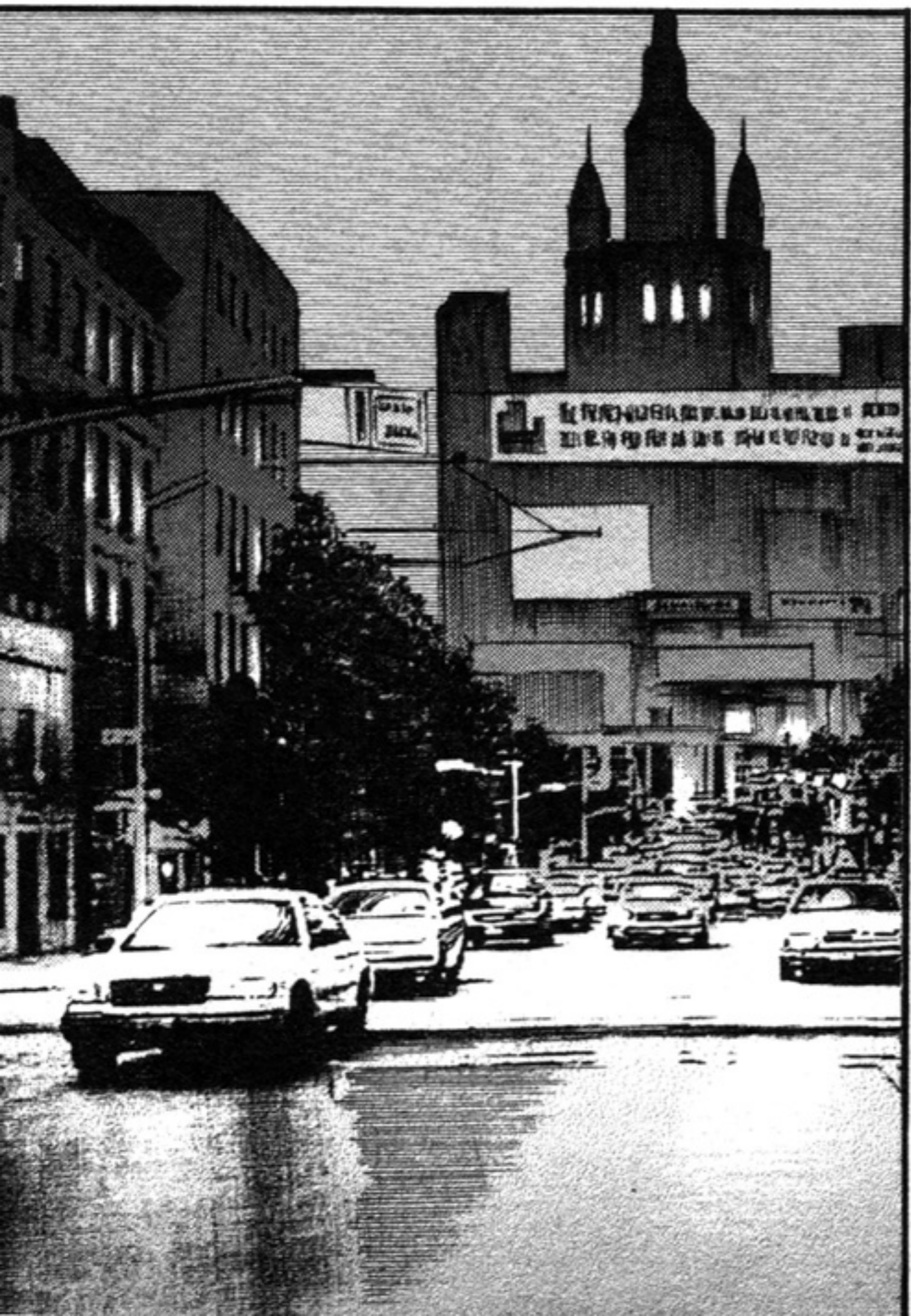
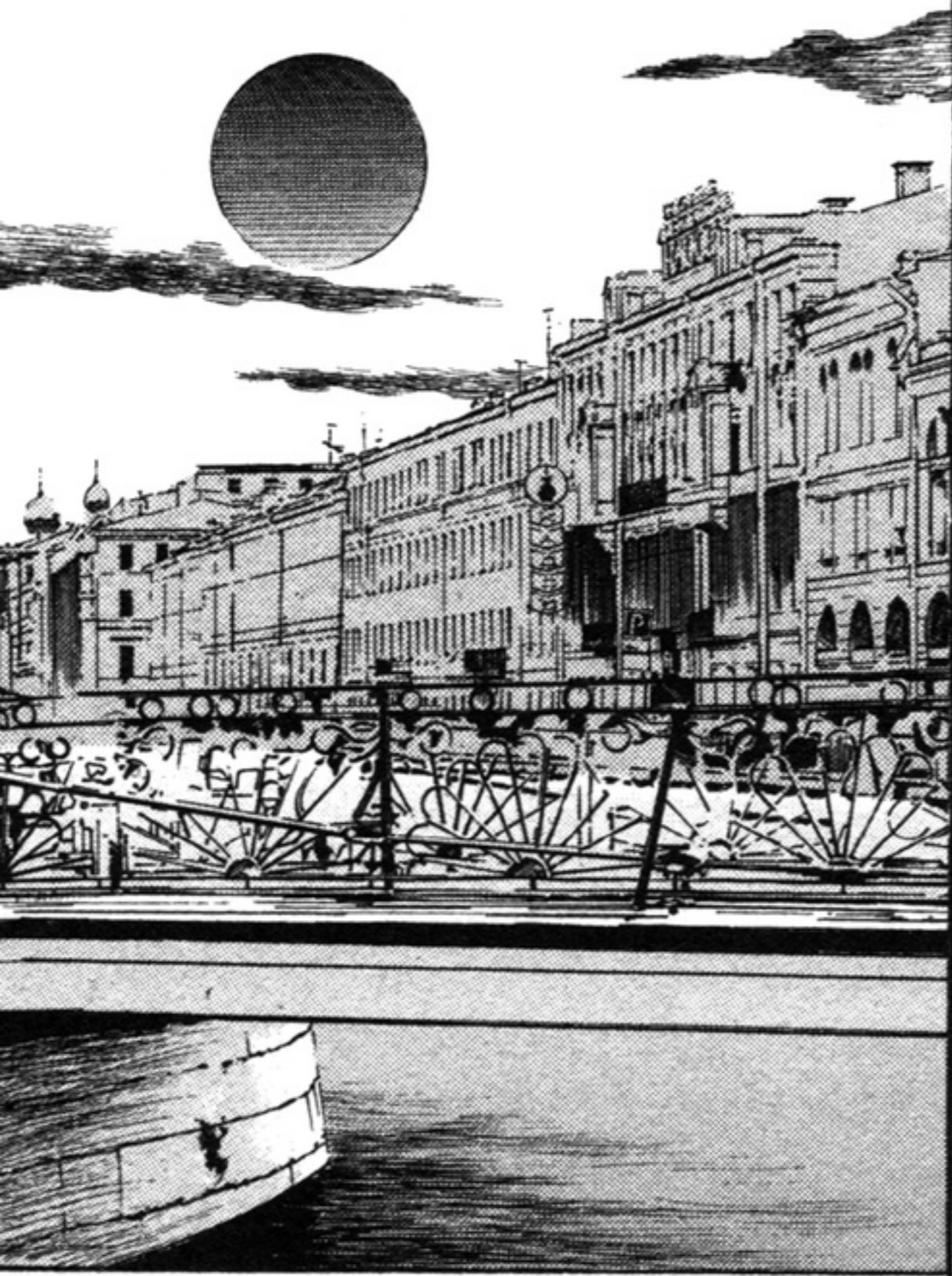




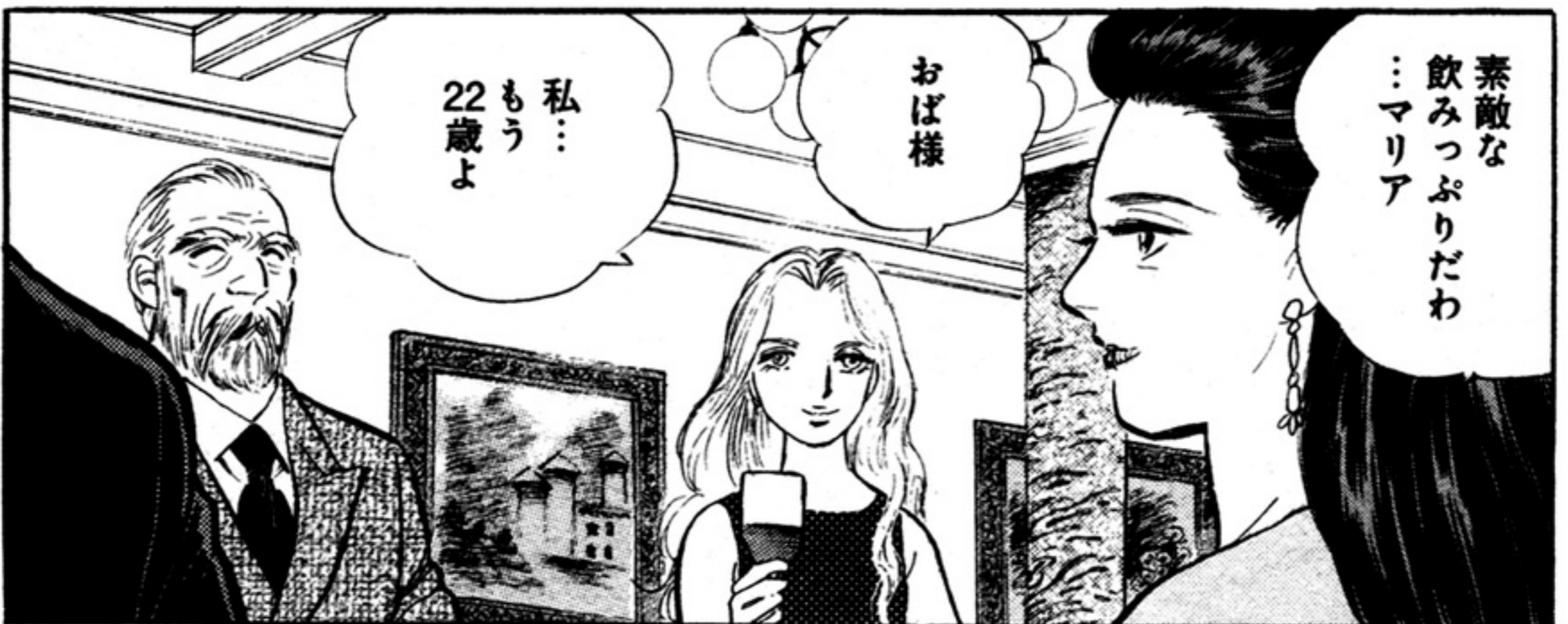
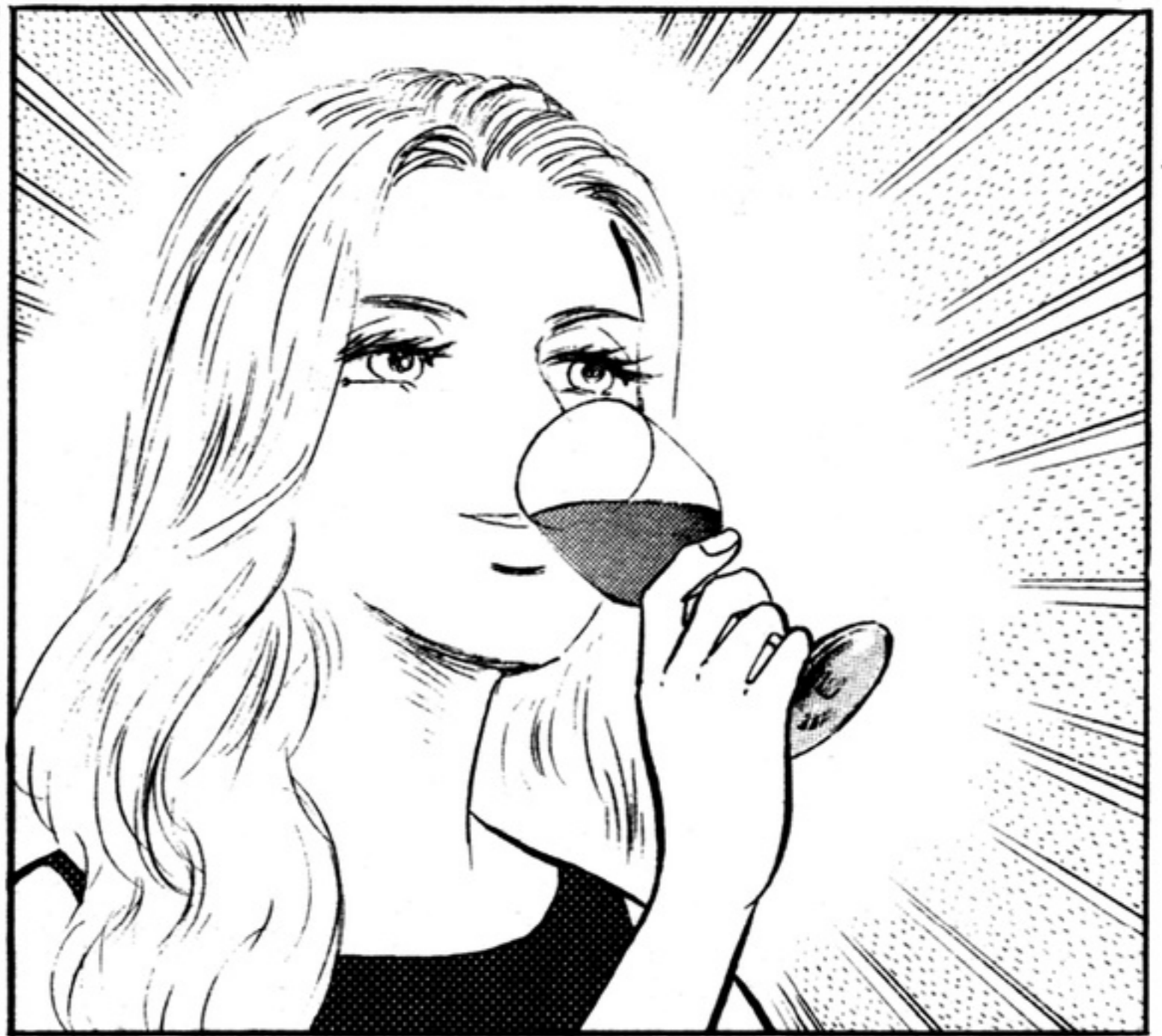
ミスター！
セルゲイ！
ツイガノフ

お前に
ミスターと
呼ばれたくは
ないぞ
京一：





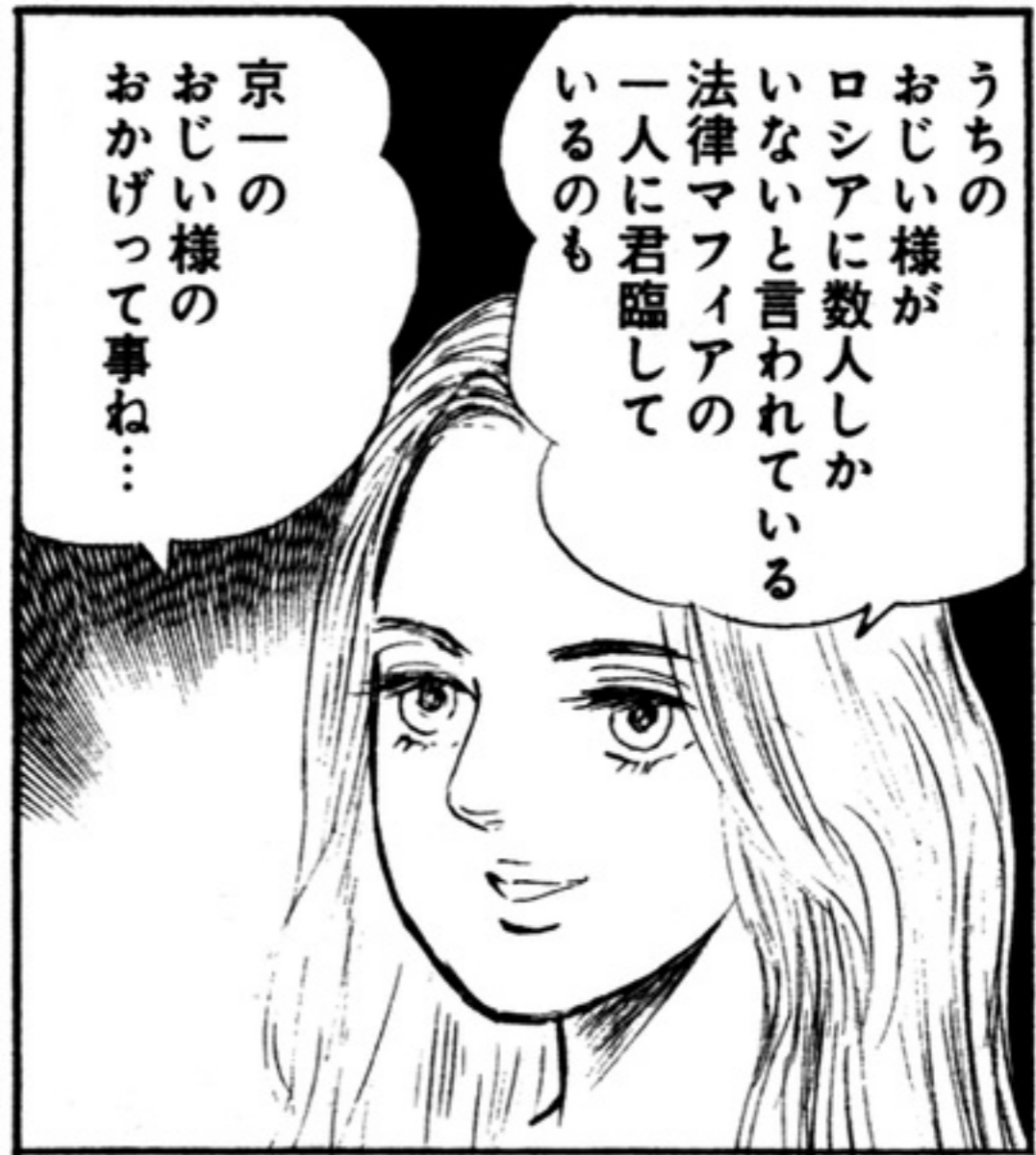
—モスクワ—





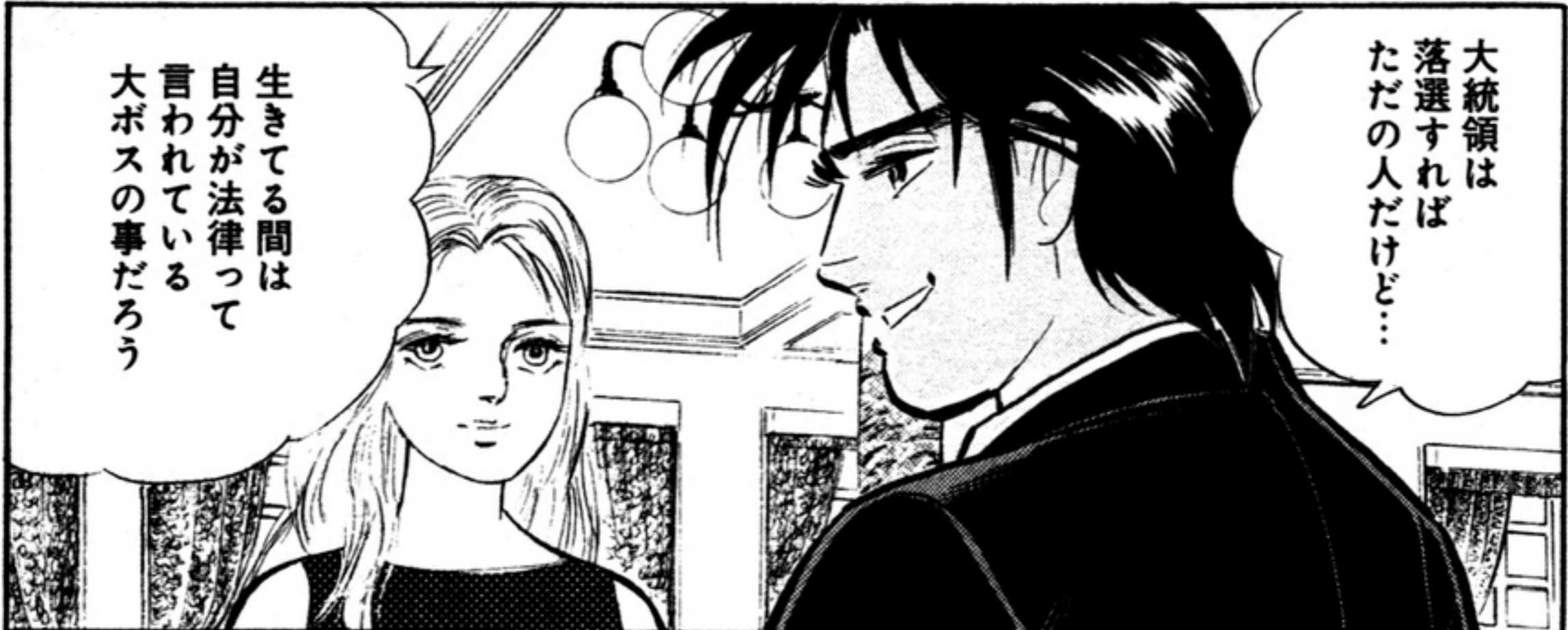
なんだ
その法律
マフィアって…

また
とぼけ
ちやって…



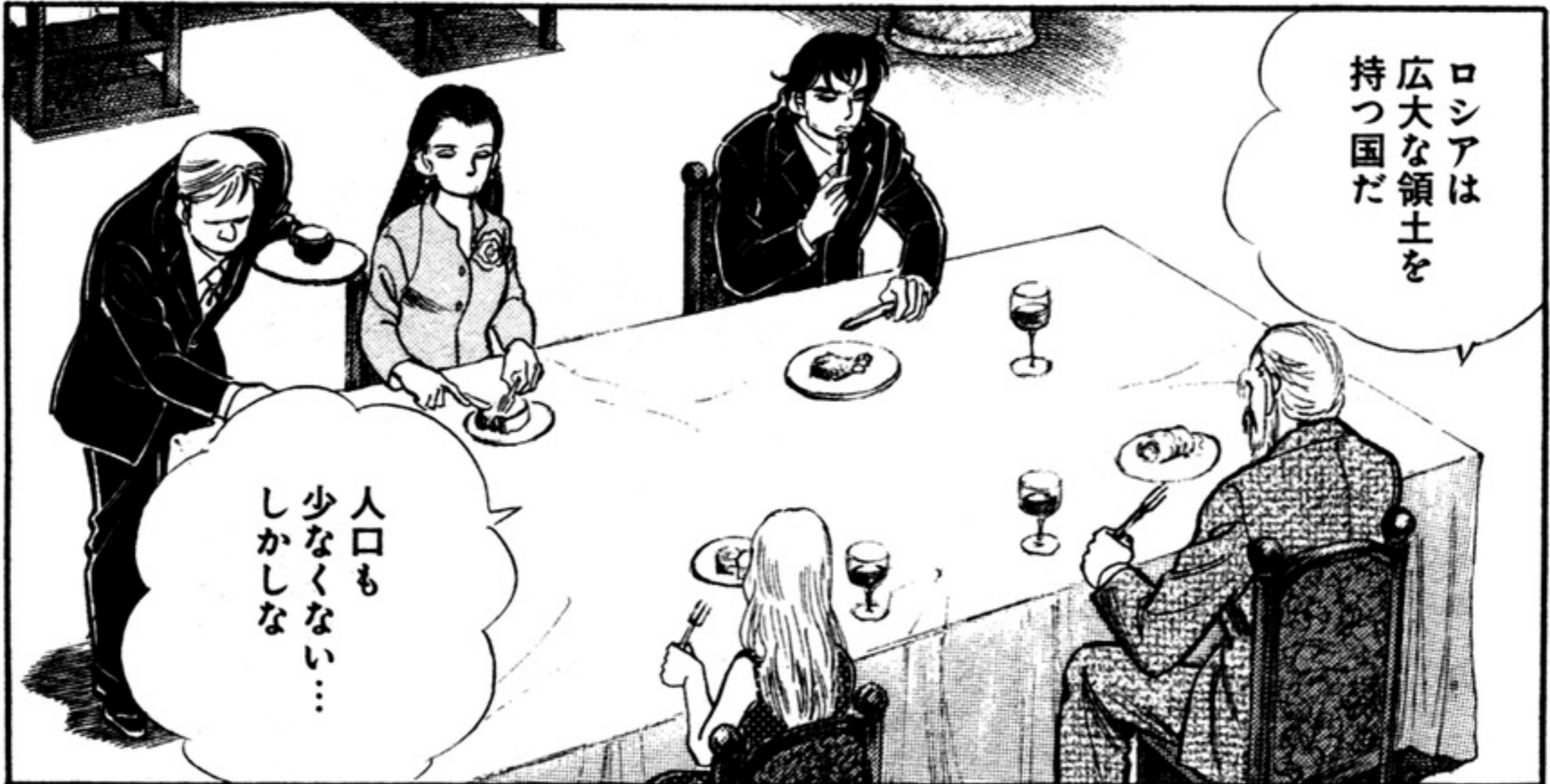
うちの
おじい様が
ロシアに数人しか
いないと言われている
法律マフィアの
一人に君臨して
いるのも

京一の
おじい様の
おかげって事ね…



大統領は
落選すれば
ただの人だけど…

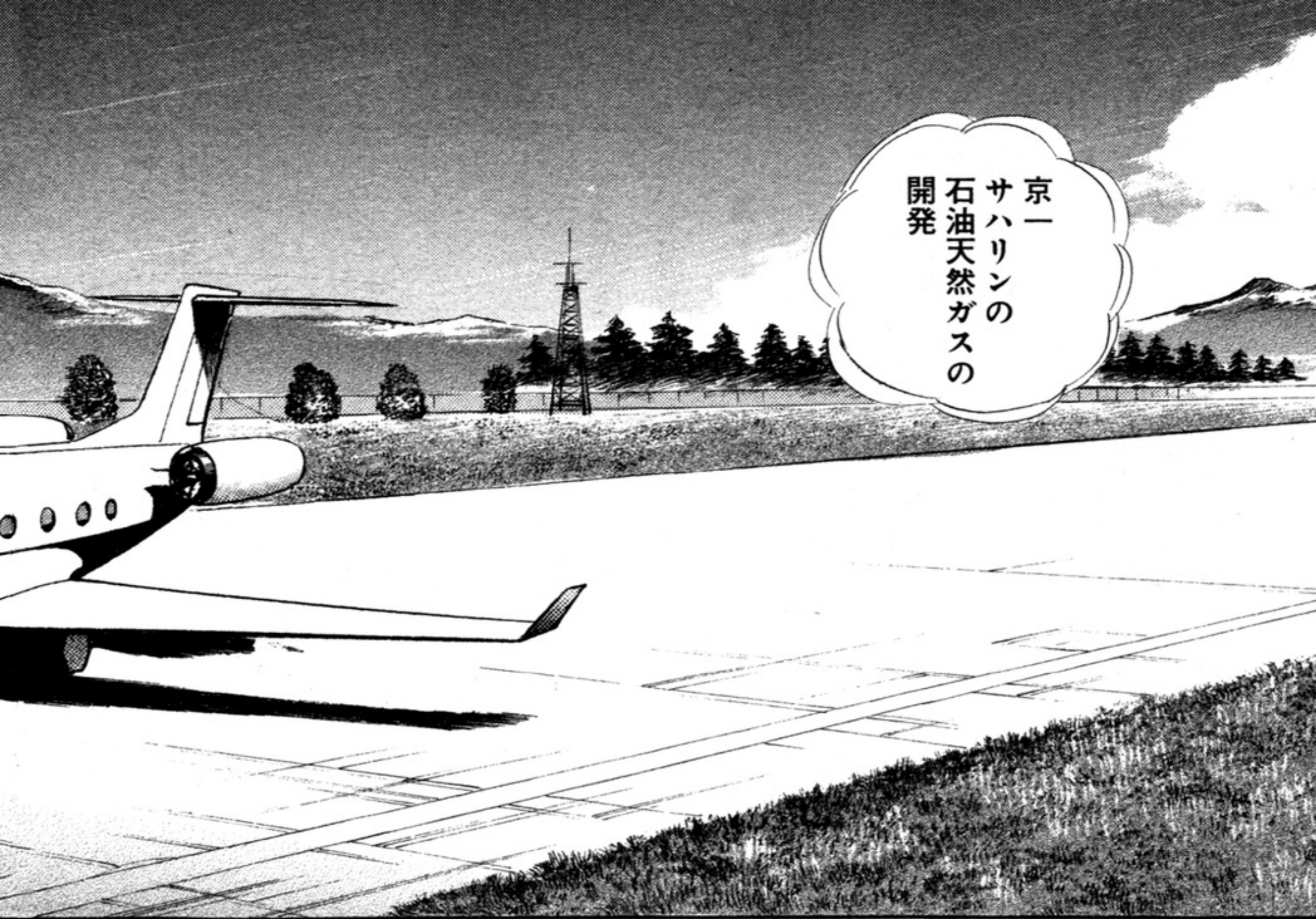
生きてる間は
自分が法律って
言われている
大ボスの事だろう



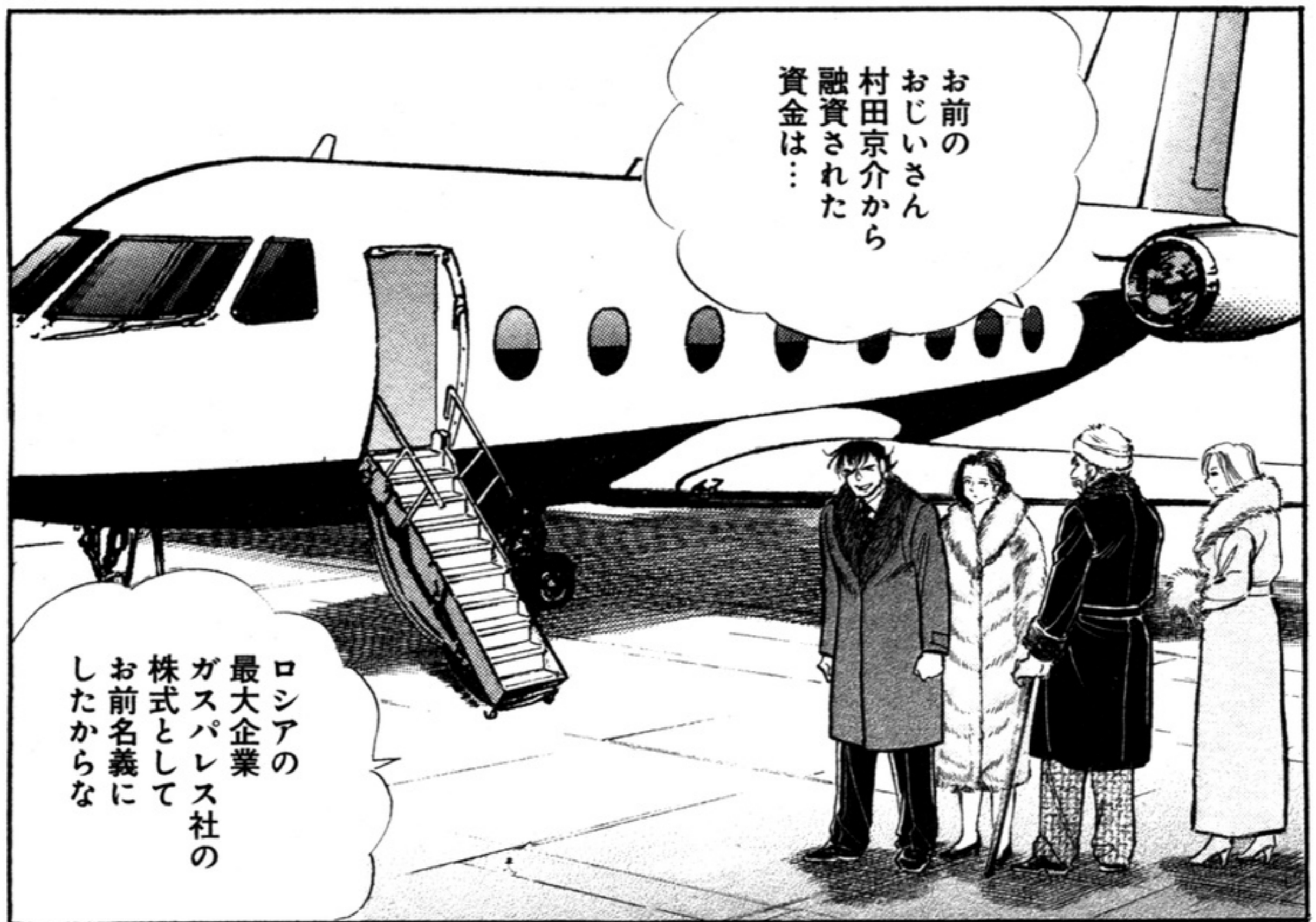
ロシアは
広大な領土を
持つ国だ

人口も
少なくない…
しかしな





京一
サハリンの
石油天然ガスの
開発



お前の
おじいさん
村田京介から
融資された
資金は…

ロシアの
最大企業
ガスパレス社の
株式として
お前名義に
したからな



私の会社
ガスパレスが
支配する事
になった

サハリンの
ガスパレス
日本側の交渉権は
お前に預ける



ありがとう

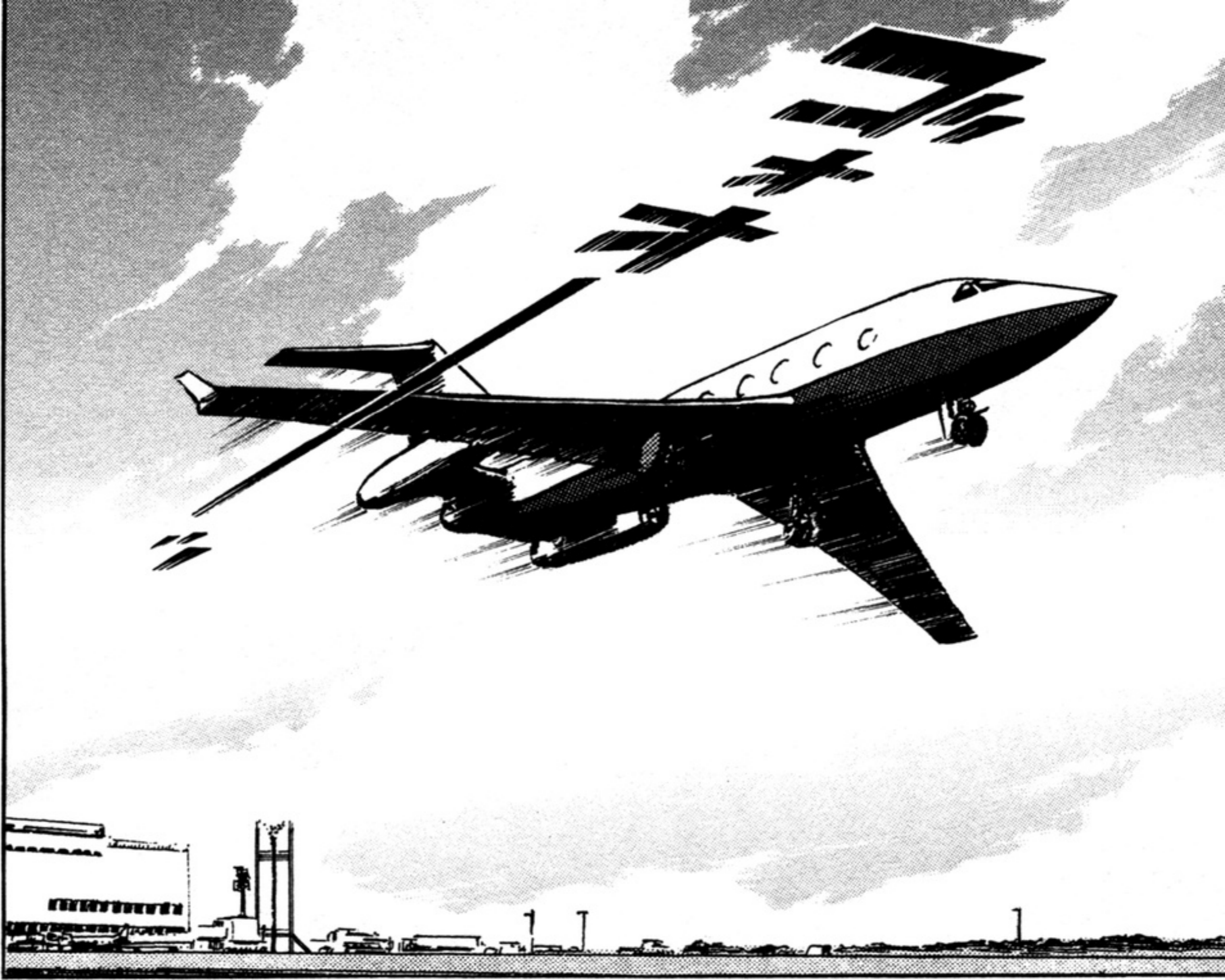


バイバイ



お前の屋根は
.....

この
セルゲイ・
ツイガノフだ



セルゲイの
じいちゃんは

マフィアなんて
存在じゃないよ
ロシアって大国の
中心人物の一人じゃ
ないか



でっ…



やっぱり
京一の進む道は
こういう方向
なのかしらね

ええ
——っ
こういう
方向？



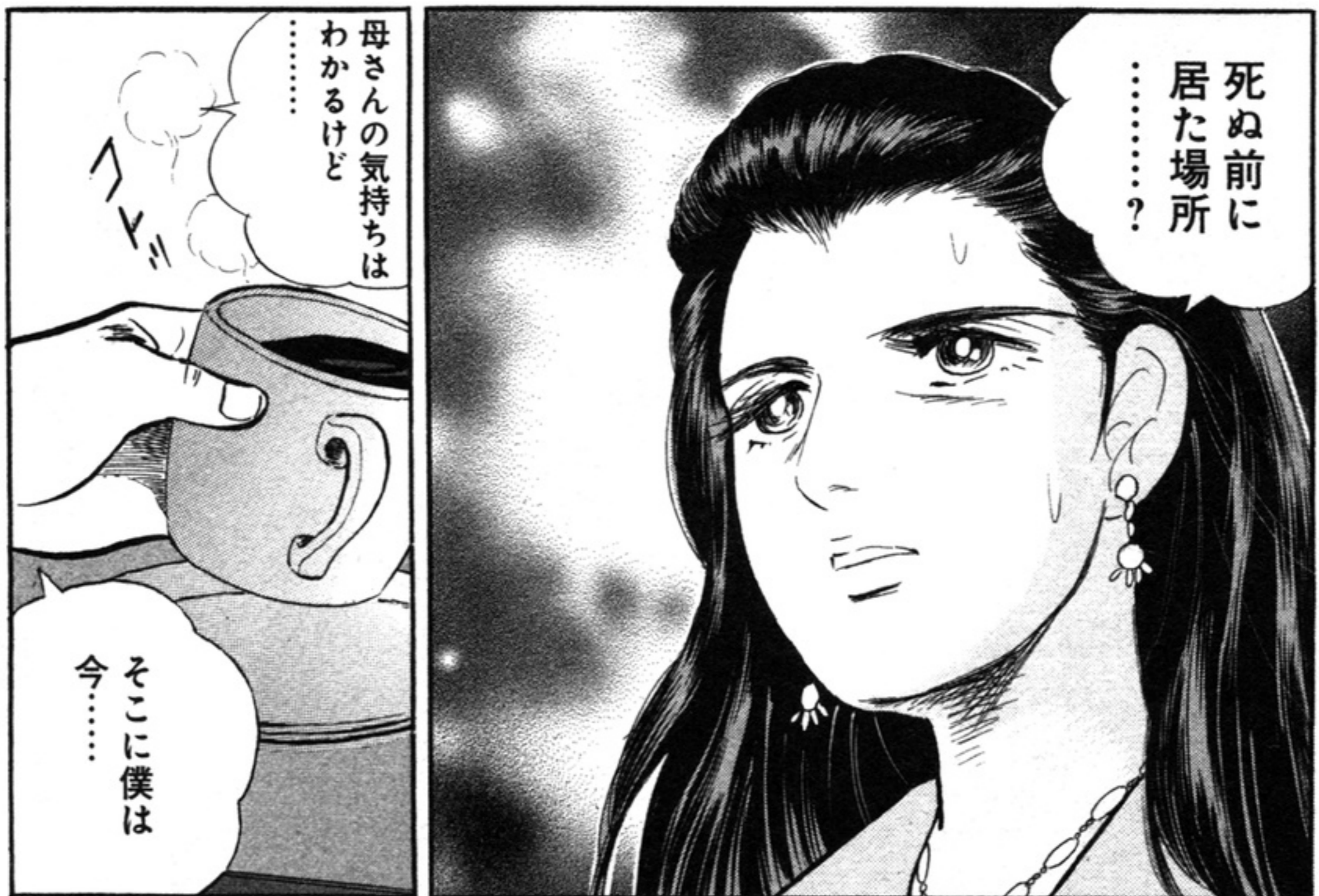
京一は
一体
何をやろうと
しているの…

私の気持ちは
変わらない…
あなたが非合法の中で
生きる事には
絶対 反対…



僕が生まれる前に
死んでしまった
僕の父さんが
………

死ぬ前に
居た場所に



死ぬ前に
居た場所
………?

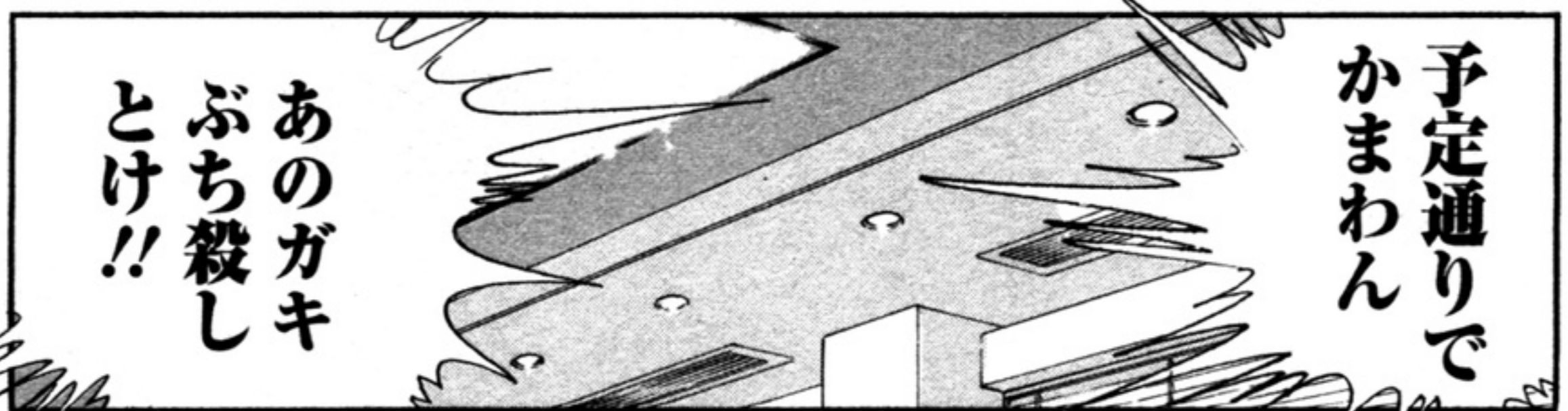
母さんの気持ちは
わかるけど
………

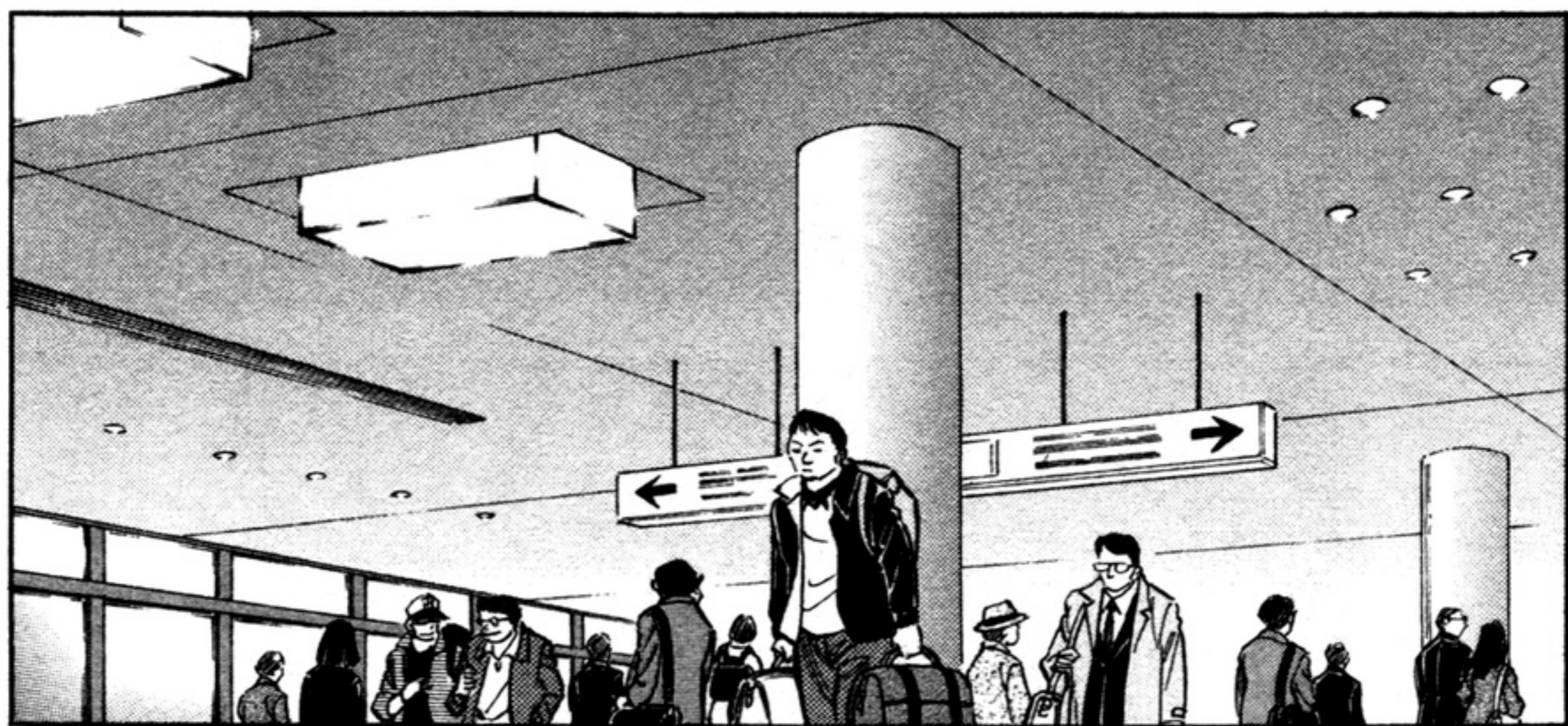
そこに僕は
今………

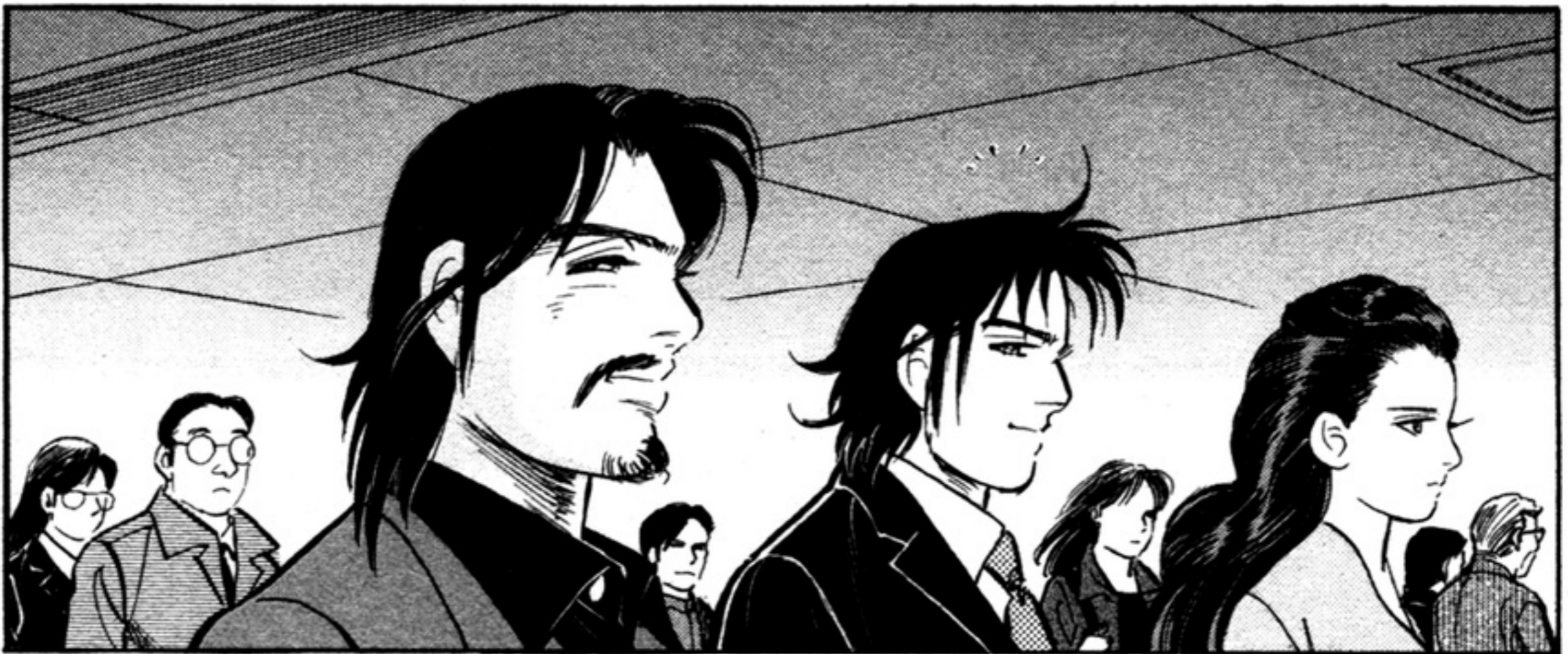
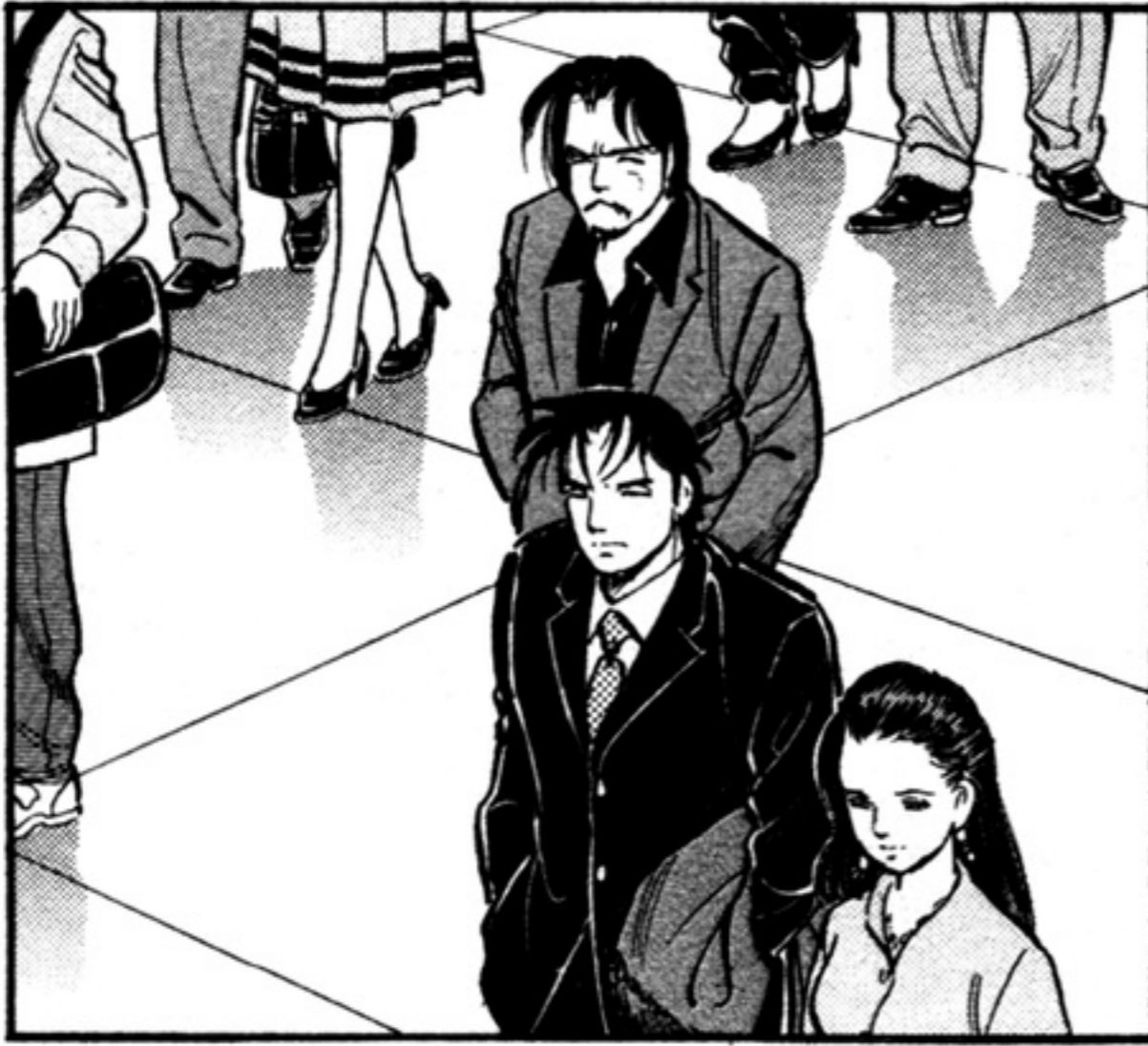
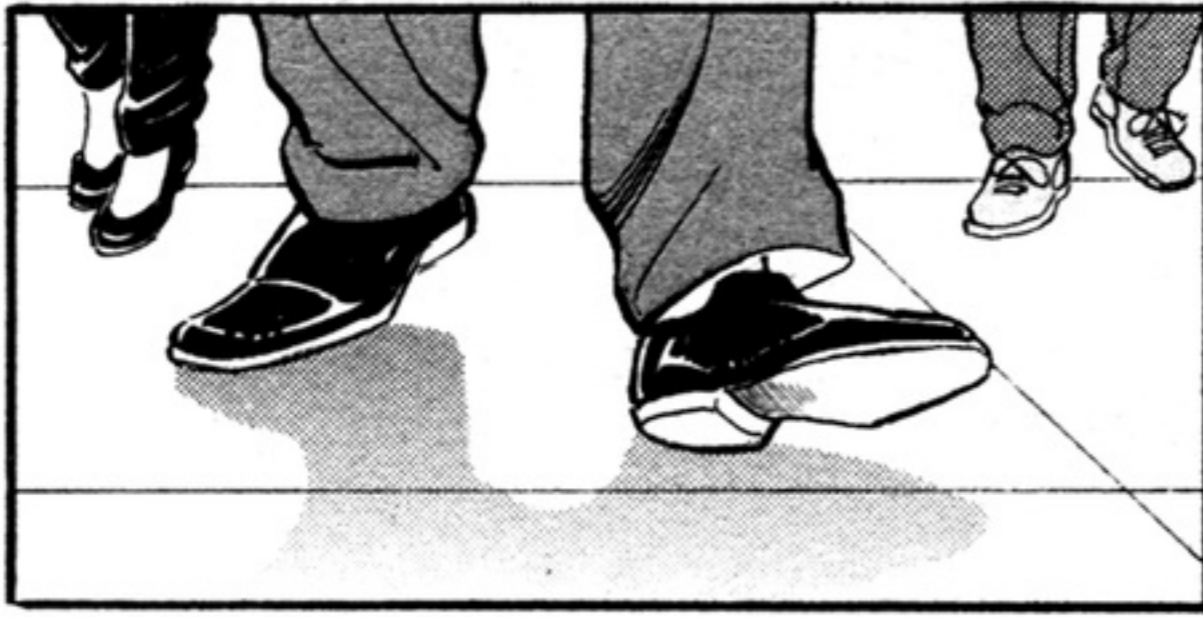
立つたと
いう事かな

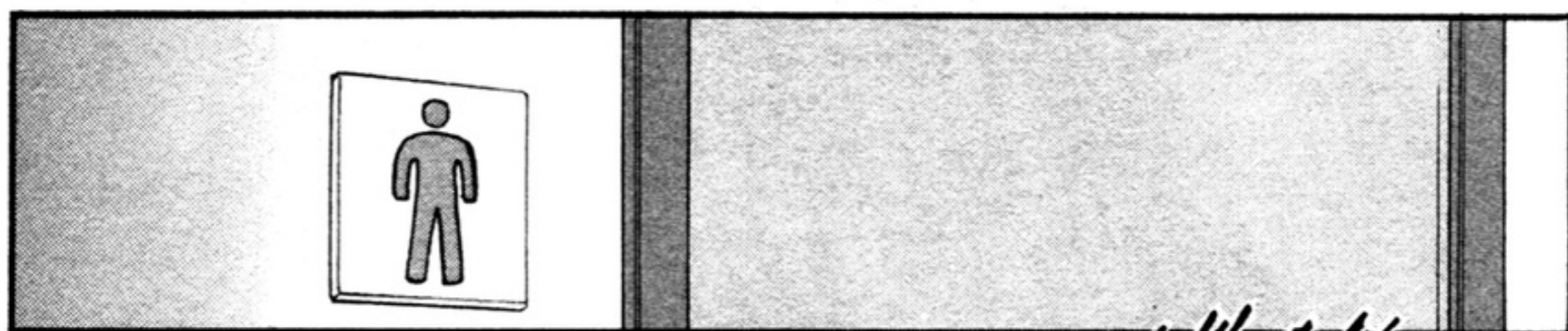














その
落とし前を
つけるにや
二つしかねえんだ

男を売って
生きてる
稼業がよ

お前を殺すか
お前の子分に
なるか：

自分の
舎弟達の前で
あれだけコケに
されたんだぜ



でっ…

どっちに
したんですか



あんべえの
いい事に…

お前を
消せって
上から
命令が出てな





お前の子分になるなら
落とし前が必要だろう

何スか
そりゃあ
？



ふざけないで
下さい…



お前の顔に
チャカ
ぶっ放した事への
な……

……
この前
……



僕は
ヤクザじゃ
ありません
よ…

おじいさんと
父親がヤクザ
だからといって
も…





